

(別紙4(2))

事業所名 ほうゆう・和の家

目標達成計画

作成日: 令和6年10月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	コロナ過に比べると徐々に地域との関わりも増えてきているが、ご利用者が地域の催しへの参加や、外出の機会を増やせていない。また高齢者が安心して過ごせる環境が少ない。(公園のトイレ、テーブルや椅子などの休憩スペース)	①外出の機会を増やす ②地域の方々とふれあう。 ③地域の資源を活用する。	①散歩やドライブなど地域の身近な場所へ出かける。 ②オープン喫茶を開催する。	12ヶ月
2	13	コロナ過で職員の研修離れがみられる。研修会場での密に関わる不安がある。	研修を受講して、知識や技術の向上とモチベーションを高める。	①リモート研修の機会を増やす。 ②YouTubeでの研修を視聴する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。